

■児童・生徒の学力の状況

- 授業中真面目に取り組み、質問紙より自己肯定感が高い生徒が多いが、課題に粘り強く取り組む態度など学習への主体性に課題があることがわかる。
- 学年が上がるにつれて改善されてはいるが課題の提出期限を守れない生徒が若干名いる。
- 日常での見取りや各種調査等の結果から、生徒の学習状況における課題は、国語では「情報の扱い方、読むこと」、数学では「数学的な思考・判断・表現」の標準的な力が十分でない者が多いことである。
- 生徒アンケートの結果から、家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が見られる。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題
※「読み解く力」の育成を踏まえて

- 生徒の真面目に取り組む姿勢を生かした、生徒自身が主体的に学習に取り組むための教材や指導方法に関するより一層の工夫が課題である。
- Chromebookの活用等により課題提出を自ら行えるようになったが、機会の増加と、教材の質の向上が課題である。
- 生徒の「理解する力」を生かした授業中における「話す・聞く」場面や数学的な「見方・考え方」を使う場面を増やし、標準的な力の習得を図ることが課題である。
- Chromebookの活用や授業の学びを家庭で活用・探究させるなど、指導計画の工夫改善による家庭学習の定着が課題である。

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

- 【基本方針】「凡事徹底」のもとに「学び続ける心身の構え」を身に付けさせる。
- 各教科の基礎的・基本的事項の確実な定着を図るとともに思考力、判断力、表現力等を高める。
 - 素直な姿勢・態度で、教師の指示や話を集中して聞くとともに友達よりも良い姿からも学んでいく。
 - 主体的・自主的な活動を促し、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等を育成する指導を行う。
 - 課題解決学習と学習成果の発表の場を設け、知識や概念を活用して考えをまとめたり、説明、発表したりするなどの言語活動の充実を図る。
 - 問題解決型、探究型の授業及び協働学習を取り入れ、自ら生徒が自ら考え、創る授業への改善を図る。
 - Chromebookの更なる活用によりGIGAスクール構想を進めるとともに、過剰の質を向上させ、ねらい・まとめ、振り返りを明確化する。
 - 総合的な学習の時間において、問題解決の過程及び問題解決能力、情報活用能力を学ばせる。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードの徹底	読み解く力の育成	総合的な学習の時間との連携
○めあてを明示し、生徒が自身で問題を見出し、基礎・基本的な事項を活用して課題を解決する過程を踏まえさせ、学習活動の振り返りの時間を十分に確保することで、学び続ける心身の構えを身に付けさせる。	○正しく読めているか、表現できているかを適切に見取り、価値づける。 ○自分の考えを書く際も、主述関係や指示語等を意識させる。	総合的な学習の時間を中心にアントレプレナーシップ教育の視点を視野に入れ、キャリア教育、体験活動の充実を図る。また、自己理解を深め「生き方・在り方」を考えることを通して主体的に進路選択する能力や態度を育てる。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進 板橋のiカリキュラムの活用	カリキュラム・マネジメントの推進	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現
小中一貫教育の充実に向けて、9年間の連続性を意識し、学びのエリアの目指す像や日常の課題などを共有することで読み解く力の育成を図るため以下のことを設定する。 ○各教科での目標の達成を目指す。 ○子供たちに教科書をしっかりと読み取らせる。 ○言葉・用語の意味を理解しているかと疑問をもって授業をする。	いたばし学び支援プラン2025の実現に向け学びのエリアで9年間のSTEAM教育の充実を目指し、総合的な学習の時間を中心とした、全教科の横断的な授業の充実を図る。農業体験、職場体験、上級学校訪問等を実施し、生徒自らが主体的に取り組むことで望ましい勤労観、職業観を培いキャリア教育の充実を図る。また、iカリキュラムを活用し、学校の卒業した後を見通し教育課程を編成していく。	○デジタル教科書の活用、学習の見直し・学習課題への取組み・振り返りという一連の学習活動でChromebookを活用し、個別最適な学びを実現する。 ○Chromebookと電子黒板、一人一台端末のアプリケーションの活用を図り、自分の考えを発表したり、複数の友達と自身の考えを並べ、話し合いながら比較・分類したりすることで、考えの共有化を図り、個々の考えの深化を図るとともに、協働的な学びの実現につなげる。 ○教室環境を工夫し、ユニバーサルデザインの充実を図る。 ○体験・協働学習を充実させ、学習成果の発表の場を設けたり、知識や概念を活用して考えをまとめたりさせ、説明、発表する力を高め、学び続ける心身の構えを身に付けさせる。